

## B 教育研究・管理運営部 自ら学び 考える子

○言葉の力を活かして、自ら考え表現する子の育成  
 ～主体的に学習に参加し、学び合う授業の工夫～  
 ・語彙力を付けさせるための指導の工夫  
 ・読書が楽しくなる取組

評価対象	項目	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	思わない	分からない
児童	4 授業で学ぶことが楽しいです。	47%	36%	9%	4%	4%
	5 自分の思っていることや考えていることを みんなに伝えることができます。(発表・作文等)	33%	33%	14%	15%	5%
	6 進んで本を読みます。	45%	27%	12%	11%	5%
教職員	5 『楽しい授業』『わかる授業』を実践し、授業を工夫している。	71%	20%	0%	3%	6%
	6 校内研のテーマに基づき、指導力を磨き研修と修養に努めている。	46%	40%	9%	0%	5%
	7 保護者の理解を得て、家庭学習の充実を図っている。	49%	37%	6%	0%	8%
	8 読書量を増やす工夫をし、本を読む楽しさを身につけさせている。	40%	34%	20%	0%	6%
保護者	5 学校では、授業の内容や方法が工夫され、子どもにわかりやすい授業を行っている。	36%	45%	5%	2%	12%
	6 児童は、家庭学習に意欲的に取り組んでいる。	25%	40%	21%	13%	1%
	7 家庭で 読み聞かせや読書の機会を作る事を心がけている。	23%	32%	26%	18%	1%
地域 (コミュニティ・ スクール関係 の方々)	該当項目なし					

### 【考察】

- ① 児童6:読書について「思う」「やや思う」を合わせると、昨年度と比べて10%近く上がっている。  
 ⇨ 読書量を増やす工夫として机の横に本を用意し、隙間時間を読書に充てるようにさせたり、学期に一度、各クラス司書教諭によるブックトーク、委員会によるキャンペーン等、工夫したりした取組みが活きたのだと思われます。引き続き継続していきます。
- ② 児童5「自分の思っていることや考えていることを みんなに伝えることができます」で66%の児童が「そう思う」「ややそう思う」と感じている。  
 ⇨ ペア、小グループなど段階を踏んで伝えるよう工夫をしてきた成果が出てきたと思われます。「ややそう思わない」「そう思わない」にしている児童が、ペアや小グループでも伝えられるように、今後も支援、声掛けをしていきます。温かいクラスの雰囲気作りについては、年々取組みが進んでいます。その上で「伝えたい」授業づくりを進めていきます。
- ③ 教職員7「保護者の理解を得て、家庭学習の充実を図っている」について  
 ⇨ もう一度校内で共通理解を図り、「家庭学習の手引き」の見直しを進め、4月の保護者会でさらに周知していくことで、家庭との連携を深めていきたいです。
- ④ 保護者5「学校では、授業の内容や方法が工夫され、子どもにわかりやすい授業を行っている」について  
 ⇨ 「できるようになった」という達成感を味わえるような授業、分からないままにしない指導などをさらに充実させていきたいです。  
 ● 普段の授業の様子の発信を強化し「わかりやすい授業」「授業の内容や方法が工夫されている」ことを、保護者に伝えられるようにしていきます。(具体的な取組みについては、来年度発信します。)